

	<table border="1"> <tr><td colspan="2">1</td></tr> <tr><td>書名</td><td>ウルスリのすず</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 ゼリーナ・ヘンツ 訳 大塚 勇三 絵 アロイス・カリジェ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>岩波書店</td></tr> <tr><td>定価</td><td>2,000</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年11月</td></tr> </table>	1		書名	ウルスリのすず	著者等	著 ゼリーナ・ヘンツ 訳 大塚 勇三 絵 アロイス・カリジェ	出版社	岩波書店	定価	2,000	対象	幼児～小学校中学年	発行	2018年11月	<p>高い山々に囲まれた小さな村に住むウルスリは、働き者の元気な男の子。明日は春を迎える鈴行列のお祭りで、男の子たちは、鈴を借りに行く。鈴が大きいと行列の先頭に立ってたくさんのお菓子や木の実を鈴の中に入れてもらえるのだ。ウルスリは、1ばん小さい鈴しかもらえずがっかりする。だが山の夏小屋に大きな鈴があったことを思い出し雪の山を1人で登っていく。すてきな鈴を手に入れたウルスリは行列の先頭に立って行進することができた。スイスの女流詩人の文と同国の絵本作家により描かれた絵がすてきな絵本。判型を小さくし新規製判として再刊。</p> <p>(分類番号 993)</p>
1																
書名	ウルスリのすず															
著者等	著 ゼリーナ・ヘンツ 訳 大塚 勇三 絵 アロイス・カリジェ															
出版社	岩波書店															
定価	2,000															
対象	幼児～小学校中学年															
発行	2018年11月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">2</td></tr> <tr><td>書名</td><td>おほしさまのちいさなおうち</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 渡辺鉄太 絵 加藤チャコ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>瑞雲舎</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年10月</td></tr> </table>	2		書名	おほしさまのちいさなおうち	著者等	著 渡辺鉄太 絵 加藤チャコ	出版社	瑞雲舎	定価	1,300	対象	幼児～小学校低学年	発行	2018年10月	<p>あるところにおもちゃで遊ぶのにも、絵本をよむのにもすっかりあきてしまった男の子がいた。——それなら、たんけんに行くのはどう？おほしさまのおうちをさがしてみるの。おほしさまは、よぞらにいただけでなく、とびらもまどもない小さな赤いおうちにもすんでいる。丘のうえまで行ってごらん、よく目をあけて耳をすませたらみつかるとよ——おかあさんから楽しい遊びをおしえてもらった男の子は、さっそくおほしさまのおうちさがしにでかける……。語りかけるようなほのぼのとした文と、白地に明るい色を使った水彩で描かれた絵がしゃれた絵本。</p> <p>(分類番号 933)</p>
2																
書名	おほしさまのちいさなおうち															
著者等	著 渡辺鉄太 絵 加藤チャコ															
出版社	瑞雲舎															
定価	1,300															
対象	幼児～小学校低学年															
発行	2018年10月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">3</td></tr> <tr><td>書名</td><td>きのこレストラン</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>文・写真 新開 孝</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>ポプラ社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年9月</td></tr> </table>	3		書名	きのこレストラン	著者等	文・写真 新開 孝	出版社	ポプラ社	定価	1,500	対象	幼児～小学校中学年	発行	2018年9月	<p>雨上がりに、かさをひらいた、真っ赤なきのこ、名前はタマゴダケ。ひらいたかさのうら側にさっそく虫たちがやってきた。サクサクとやわらかなひだをたべる。ゼリーのようになったタマゴダケは栄養たっぷりのきのこレストラン、いろんな生きものたちで大にぎわい。きのこだけ食べて育つ昆虫、エサとしてたまに食べるだけのものや、虫をねらってやってくる肉食昆虫もいる。地面や朽木に生える様々なきのこは、森や草原でいのちをつなぐ働きをしている。昆虫写真家が鮮明な接写で見せる写真絵本。きのこのねばねばした質感まで伝わってくる。</p> <p>(分類番号 486)</p>
3																
書名	きのこレストラン															
著者等	文・写真 新開 孝															
出版社	ポプラ社															
定価	1,500															
対象	幼児～小学校中学年															
発行	2018年9月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">4</td></tr> <tr><td>書名</td><td>なんげえはなしっこしかへがな</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 北 彰介 絵 太田 大八</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>BL出版</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年11月</td></tr> </table>	4		書名	なんげえはなしっこしかへがな	著者等	著 北 彰介 絵 太田 大八	出版社	BL出版	定価	1,500	対象	幼児～小学校低学年	発行	2018年11月	<p>書名は「長い話をしてやろうかな」の意味。山には栗の実がたくさんあった。そこにかすがとんできてガアッとなくと栗の実が1つポタンとおちる。またかすががガアッとなくと栗の実が1つポタンとおちる。ガアッてばポタン、ガアッてばポタン、ガアポタン、ガアポタン……。全部落ちるまで1年と3日かかった話や、セミとやまばとの鳴きくらべで2年と13日かかった話など、著者が祖母にきいた津軽弁の果てなし話が7編。土地こぼれを生かした素朴な語り口と民俗画風な絵からのどかな世界が広がる絵本。1979年他社刊の復刊。</p> <p>(分類番号 913)</p>
4																
書名	なんげえはなしっこしかへがな															
著者等	著 北 彰介 絵 太田 大八															
出版社	BL出版															
定価	1,500															
対象	幼児～小学校低学年															
発行	2018年11月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">5</td></tr> <tr><td>書名</td><td>どっこどっこいし</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 山田マチ 絵 花山かずみ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>こぐま社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2019年3月</td></tr> </table>	5		書名	どっこどっこいし	著者等	著 山田マチ 絵 花山かずみ	出版社	こぐま社	定価	1,300	対象	幼児～小学校低学年	発行	2019年3月	<p>あれ？こけしがない。どこにいったんだろう。茶だんすの上にかざってあったこけしが、ある日いなくなった。こけしは次々に時と場所を変え、ある時は太鼓のバチに、またある時はリレーのバトン、ロックスターのマスク、キリンのツノ、チンアナゴ、おじぞうさま……。いろんなものになりすまして旅を続けるこけしが家にもどってくるのは……。画面いっぱい描かれた人々や動物たちの表情や真顔のこけしの「しれっ」としたなんともいえないおかしみのあふれた絵が楽しい。古い民芸品の魅力を再発見していけるような古くて新しいユーモアたっぷりの絵さがし絵本。</p> <p>(分類番号 913)</p>
5																
書名	どっこどっこいし															
著者等	著 山田マチ 絵 花山かずみ															
出版社	こぐま社															
定価	1,300															
対象	幼児～小学校低学年															
発行	2019年3月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">6</td></tr> <tr><td>書名</td><td>こぶたのタミーはじめてのえんそく</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 かわのむつみ 絵 下間文恵</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>国土社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校低学年・中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2019年1月</td></tr> </table>	6		書名	こぶたのタミーはじめてのえんそく	著者等	著 かわのむつみ 絵 下間文恵	出版社	国土社	定価	1,300	対象	小学校低学年・中学年	発行	2019年1月	<p>2年生の女の子マキちゃんの家は山のふもとの牧場。知りたがりやのこぶたのタミーは、マキちゃんがだいふく山に遠足に行くという話を聞いて、自分も行きたくなった。タミーはねこのイップといっしょにだいふく山をめざす。マキちゃんたちよりも早く着こうと、草むらや森の中を通り、どろの中へ沈みそうになったり、ヘビがあらわれたり、迷子になったりしながら岩を上った。そこが頂上でマキちゃんたちと会える。いっしょにお弁当を食べたり、絵を描いたりして帰りは一緒に帰る。困難を乗り越えた、こぶたのタミーのはじめての遠足の物語。</p> <p>(分類番号 913)</p>
6																
書名	こぶたのタミーはじめてのえんそく															
著者等	著 かわのむつみ 絵 下間文恵															
出版社	国土社															
定価	1,300															
対象	小学校低学年・中学年															
発行	2019年1月															

	<table border="1"> <tr><td colspan="2">7</td></tr> <tr><td>書名</td><td>ぼくはくまですよ</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>文・絵 フランク・タシュリン 訳 小宮由</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>大日本図書</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年12月</td></tr> </table>	7		書名	ぼくはくまですよ	著者等	文・絵 フランク・タシュリン 訳 小宮由	出版社	大日本図書	定価	1,400	対象	小学校中学年	発行	2018年12月	<p>くまが冬眠して目が覚めると、森や林は工場になっていた。「ぼくはくまですよ」といっても、工場の人たちは「おまえはくまじゃなく人間だ！それも毛皮のコートを着込んだ、ひげもそらない、とんちんかんだ」といって、くまを働かせた。そのうち、くまは自分でも人間なのかくまなのか、わからなくなった。やがて工場はつぶれ、くまは林の中でふるえて、ふと洞窟に入り冬眠した。くまはやはりくまだった。そして、ふつうのくまのように幸せな夢を見た。多数の人が真理をわきまえないと、多くの人の自由や尊厳がうばわれるという寓話。</p> <p>(分類番号 933)</p>
7																
書名	ぼくはくまですよ															
著者等	文・絵 フランク・タシュリン 訳 小宮由															
出版社	大日本図書															
定価	1,400															
対象	小学校中学年															
発行	2018年12月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">8</td></tr> <tr><td>書名</td><td>この計画はひみつです</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 ジョナ・ウィンター 訳 さくま ゆみこ 絵 ジャネット・ウィンター</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>すずき出版</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校高学年以上</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年6月</td></tr> </table>	8		書名	この計画はひみつです	著者等	著 ジョナ・ウィンター 訳 さくま ゆみこ 絵 ジャネット・ウィンター	出版社	すずき出版	定価	1,500	対象	小学校高学年以上	発行	2018年6月	<p>アメリカ合衆国ニューメキシコの砂漠の町に、世界中から優秀な科学者が集められた。料理やそうじや見張りをする人たちもやってきたが、そこが何をする場所か知らず、その場所のことを口止めされた。科学者が何を作っているのかも秘密で「ガジェット（小さな装置）」と暗号で呼ばれていた。周辺の人たちは何も知らなかった。科学者たちは他の国に負けないように、昼も夜も働き、ついにそれは完成した。自分たちは半地下の観測所にかくれて、広大な平原で実験をし、原子爆弾がさく裂した。原子爆弾が秘密のうちに作られた過程を知らせる絵本。</p> <p>(分類番号 933)</p>
8																
書名	この計画はひみつです															
著者等	著 ジョナ・ウィンター 訳 さくま ゆみこ 絵 ジャネット・ウィンター															
出版社	すずき出版															
定価	1,500															
対象	小学校高学年以上															
発行	2018年6月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">9</td></tr> <tr><td>書名</td><td>女の子だって、野球はできる！「好き」を続ける女性たち</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 長谷川 晶一</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>ポプラ社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校高学年以上</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年7月</td></tr> </table>	9		書名	女の子だって、野球はできる！「好き」を続ける女性たち	著者等	著 長谷川 晶一	出版社	ポプラ社	定価	1,300	対象	小学校高学年以上	発行	2018年7月	<p>小学生から女子プロ野球まで、現在日本で野球をしている女性は約2万人いる。野球をする女子が多くなかったところに、男子にまじって野球をし、活躍していた女の子たちもいた。その子たちも中学生になると、体格のちがいで思うような練習ができなかったり、困難にぶつかる。高校ではソフトボールに転向する人もいた。しかし女性のチームができ、高校でも野球部を持つところが少しずつ増えていった。日本の女子野球マドンナジャパンは、心の野球・絆の野球で世界をリードする。「好き」を続ける女子野球の今を知るノンフィクション。</p> <p>(分類番号 916)</p>
9																
書名	女の子だって、野球はできる！「好き」を続ける女性たち															
著者等	著 長谷川 晶一															
出版社	ポプラ社															
定価	1,300															
対象	小学校高学年以上															
発行	2018年7月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">10</td></tr> <tr><td>書名</td><td>昨日のぼくのパーツ</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 吉野 万理子</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>講談社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校高学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年12月</td></tr> </table>	10		書名	昨日のぼくのパーツ	著者等	著 吉野 万理子	出版社	講談社	定価	1,400	対象	小学校高学年	発行	2018年12月	<p>大志は便秘症だ。事故で入院したおじいちゃんは自力でトイレに行けないことを嘆いて「生きていたくない」という。いとこのトモ兄は過敏性大腸炎で下痢気味。バキやんはストレスでおしっこが近くなる。ノッコは毎日いいウンコがでるといふ。みんなで夏休みの自由研究に「ウンコやおしっこ、トイレのこと」を研究することになる。ウンコは80%が水分で、残りは20%が固形物。食べカスやはがれた腸の粘膜、腸内細菌もいっぱい。つまり、ウンコは自分の体の一部だということがわかった。トイレや排せつにまつわる悩みや真実を追求する物語。</p> <p>(分類番号 913)</p>
10																
書名	昨日のぼくのパーツ															
著者等	著 吉野 万理子															
出版社	講談社															
定価	1,400															
対象	小学校高学年															
発行	2018年12月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">11</td></tr> <tr><td>書名</td><td>死体が教えてくれたこと</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 上野 正彦</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>河出書房新社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,350</td></tr> <tr><td>対象</td><td>中学生以上</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年9月</td></tr> </table>	11		書名	死体が教えてくれたこと	著者等	著 上野 正彦	出版社	河出書房新社	定価	1,350	対象	中学生以上	発行	2018年9月	<p>「ひとつひとつの死に、言い残した言葉があり、大切な人生があった」監察医として2万個もの遺体と出会ってきた著者。検死や解剖を通して死の真相を探り、時には事件を解決に導いたこともあり、悲惨な人生を垣間見たこともあった89歳の現在も活躍を続ける元監察医の上野さんの、戦時下の少年時代から監察医を志した青年時代、心身ともにハードな監察医の仕事が語られる。その原点という父親が、北海道の無医村で「赤ひげ」のように患者と向き合うエピソードが魅力的。死と向き合い続けることによって、自ずと考えさせられる命の大切さと生きる意味。題名はセンセーショナルだが、若い世代に贈る熱いメッセージが詰まった本だ。</p> <p>(分類番号 498)</p>
11																
書名	死体が教えてくれたこと															
著者等	著 上野 正彦															
出版社	河出書房新社															
定価	1,350															
対象	中学生以上															
発行	2018年9月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">12</td></tr> <tr><td>書名</td><td>マレスケの虹</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 森川成美</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>小峰書店</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>対象</td><td>中学生以上</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年10月</td></tr> </table>	12		書名	マレスケの虹	著者等	著 森川成美	出版社	小峰書店	定価	1,500	対象	中学生以上	発行	2018年10月	<p>1941年 マレスケは14歳、祖父と姉と四人でハワイに暮らす日系二世だ。祖父は日本からの移民で、農園で苦勞を重ねて小さな雑貨店を開いている。父母はなく兄弟は祖父に育てられたが、生まれ育ったハワイを愛し、アメリカ人としての誇りを持って穏やかに暮らしていた。だがその生活は日本軍の真珠湾攻撃で一変する。日系人は憎まれ、差別されるようになった。日本に裏切られ、アメリカに疑われる日系人たちは、忠誠を示すために戦争参加を嘆願する。そしてマレスケの兄を含む親しい青年たちもハワイを発っていったのだが…。つらい経験を通してマレスケがつかんだ自らのアイデンティティとは？戦時中の日系アメリカ人の苦悩を、少年の目を通して描いた佳作。</p> <p>(分類番号 913)</p>
12																
書名	マレスケの虹															
著者等	著 森川成美															
出版社	小峰書店															
定価	1,500															
対象	中学生以上															
発行	2018年10月															

	<p>13</p> <p>書名 むこう岸</p> <p>著者等 著 安田 夏菜</p> <p>出版社 講談社</p> <p>定価 1,400</p> <p>対象 中学生以上</p> <p>発行 2018年12月</p>	<p>少年は有名中学で落ちこぼれ、誰も知り合いのいない公立に転校したが、プライドを傷つけられ、父親のプレッシャーに潰れそうになっていた。少女は父親を亡くし、心の病を抱える母と幼い妹と三人で、生活保護を受けて暮らしているが、貧しさ故に機会を奪われる不条理に追い詰められ社会を憎んでいた。接点のないはずのそんな二人が知り合い、カフェ「居場所」で見つけたものは？甘くない現実にもう一度勇気を持って立ちむかい、苦しみながら自分の道を自分でさがしていく二人。人は何によって救われるのか、読後に深く考えさせられる物語。</p>
	<p>14</p> <p>書名 秘密をもてないわたし I Have No Secrets</p> <p>著者等 著 ペニー・ジョエルソン 訳 河井 直子</p> <p>出版社 KADOKAWA</p> <p>定価 1,400</p> <p>対象 小学校高学年以上</p> <p>発行 2019年2月</p>	<p>ジェマは14歳、重度の脳性麻痺のため、動くことも話すこともできない。周りをよく見ていて、何でもわかっているのだが、体の不調も悩みも、うれしいことも幸せな気持ちも伝えることができないのだった。ある日ヘルパーのサラの新しい恋人が殺人犯らしいと知ったジェマ、それを伝えられないうちに大好きなサラが行方不明になってしまう。ジェマが勇気を出してとった行動とは？三人の子供が全員里子という家族だが、一人一人としっかり向き合う両親がすてきだ。スピードのある展開で、伝えられないもどかしさや、忍び寄る恐怖の感覚がリアル。サスペンスだが障害をもつ子供たちの問題も丁寧に描かれる佳作。</p>
	<p>15</p> <p>書名 明日のランチはきみと</p> <p>著者等 著 サラ・ウィークス/ ギター・ヴァラダラー ジャン 訳 久保 陽子</p> <p>出版社 フレーベル館</p> <p>定価 1,400</p> <p>対象 小学校高学年以上</p> <p>発行 2018年10月</p>	<p>インドからアメリカに転校してきたラビ、故国では成績優秀な人気者だった彼は、さっそく新しいクラスでも実力を示そうとするが、初日から何をやってもうまくいかない。後ろの席のジョーはAPDの障害を抱え、ランチだけを楽しみに登校しているひとりぼっちの少年。はじめ二人はお互いにより印象を持っていなかったが、二人ともいじめっ子ディロンに目をつけられて意地悪をされ、我慢の限界に来たときに奇跡的な出来事が…。悩んでいる子どもと真剣に向き合い、全力で支えようとする家族があたたかい。その愛情を支えに、自分を見つめ返し、一歩踏み出す少年たちの爽やかな物語。</p>
	<p>16</p> <p>書名 Matt</p> <p>著者等 著 岩城 けい</p> <p>出版社 集英社</p> <p>定価 1,400</p> <p>対象 高校生以上</p> <p>発行 2018年10月</p>	<p>オーストラリアに移住して5年が経ち、17歳になった安藤真人はマットと呼ばれている。名門校で友人たちと楽しい日々を送っていたが、転校生としてもう一人のマット（W）がやって来る。マット（W）は祖父から第二次大戦中のことを聞いていて、マットが日本人というだけで軽蔑し、憎しみをぶつける。また、一緒に暮らす父や日本にいる母ともなかなかうまくいかない。小さい頃からオーストラリアに住んでも、自分が日本人であることに変わらない。自らのアイデンティティと向き合いながら、悩み、懸命に生きていくマットの成長を描く物語。</p>
	<p>17</p> <p>書名 その年、わたしは嘘をおぼえた</p> <p>著者等 著 ローレン・ウォーク 訳 中井はるの/中井川玲子</p> <p>出版社 き・え・ら書房</p> <p>定価 1,700</p> <p>対象 中学生以上</p> <p>発行 2018年10月</p>	<p>二つの戦争により世界が混乱していた1943年、アメリカの農村地帯の丘陵地に11歳のアナベルは家族と共に暮らしていた。ある日、矯正不能といわれる意地悪なベティが祖父母のところへやってくる。暴力や恐喝を受けるアナベルだったが、ベティのいじめの標的にされていることを家族に隠して小さな嘘を重ねる。やがてその矛先はアナベルの近所に住む放浪者でドイツ系のトビーに向けられる。そして、アナベルの親友の目に石があたって失明するという事件が起こり、その後ベティが行方不明となる。嘘と真実、戦争や偏見などについて考えさせられる物語。</p>




(分類番号 913)

(分類番号 933)

(分類番号 933)

(分類番号 913)

(分類番号 933)

	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>書名</td> <td>イシイカナコが笑うなら</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 額賀 滯</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>KADOKAWA</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生以上</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2019年3月</td> </tr> </tbody> </table>	18		書名	イシイカナコが笑うなら	著者等	著 額賀 滯	出版社	KADOKAWA	定価	1,500	対象	高校生以上	発行	2019年3月	<p>31歳の菅野京平はどの生徒にも慕われる有能な社会科教師だが、内心は仕事への情熱が冷め虚しさが渦巻いていた。母校に赴任して知ったのは、怪談として受け継がれる「イシイカナコ」。当時同級生だった菅野は、幽霊のイシイカナコと一緒に高校3年に戻って人生やり直し事業に参加することになる。しかし入り込んだのはクラスメイトの体で、他人の目線で過去の自分と対話をする。外側から自分を見つめなおすことにより自分の無力さや情けなさに気付き、もどかしさを感じる。果たして人生をやり直すことはできるのか。切なくてほろ苦い二度目の成長物語。</p> <p>(分類番号 913)</p>
18																
書名	イシイカナコが笑うなら															
著者等	著 額賀 滯															
出版社	KADOKAWA															
定価	1,500															
対象	高校生以上															
発行	2019年3月															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">19</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>書名</td> <td>その情報はどこから? ネット時代の情報選別力</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 猪谷 千香</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>筑摩書房</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>740</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生以上</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2019年2月</td> </tr> </tbody> </table>	19		書名	その情報はどこから? ネット時代の情報選別力	著者等	著 猪谷 千香	出版社	筑摩書房	定価	740	対象	高校生以上	発行	2019年2月	<p>私たちはいつでも当然のようにスマホやタブレット、パソコンを使ってインターネットにアクセスしている。その膨大な情報を私たちは使いこなせているだろうか。フェイクニュースやデマに惑わされ、情報の海におぼれて自分を見失わないために知っておいてほしいことや大切なことを、インターネットのニュースサイトで記者として記事を書いている著者が伝える。気づかないうちにインターネットが私たちに隠していることや情報の賞味期限、本当に必要な情報を見つけ出すスキルなどに加え、図書館の重要性も教えてくれる。探求的な学習にも使える一冊。</p> <p>(分類番号 007)</p>
19																
書名	その情報はどこから? ネット時代の情報選別力															
著者等	著 猪谷 千香															
出版社	筑摩書房															
定価	740															
対象	高校生以上															
発行	2019年2月															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>書名</td> <td>そろそろ本当の忍者の話をしてしよう</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>執筆・撮影・編集 佐藤 強志 監修 山田 雄司 絵 ふるかは ひでたか</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ガンビット</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生以上</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2018年9月</td> </tr> </tbody> </table>	20		書名	そろそろ本当の忍者の話をしてしよう	著者等	執筆・撮影・編集 佐藤 強志 監修 山田 雄司 絵 ふるかは ひでたか	出版社	ガンビット	定価	1,500	対象	高校生以上	発行	2018年9月	<p>歴史的な背景から忍者の存在意義や活躍の様子、現代における研究まで、忍者についての必要な知識が詰め込まれたビジュアル忍者ガイドブック。その内容は忍者のイメージとして浮かんでくる手裏剣や忍装束、主君のためなら命を捨てるなどといった認識を覆す。忍者の主な役割は情報収集であり、忍術はとても実践的である。忍者といえば、伊賀衆と甲賀衆が有名であるが、全国各地にいろいろな忍者がいた。また、全国の忍者史跡や忍者をテーマにした地域おこしについても取り上げられている。2018年2月に結成された国際忍者学会の推薦図書。</p> <p>(分類番号 210)</p>
20																
書名	そろそろ本当の忍者の話をしてしよう															
著者等	執筆・撮影・編集 佐藤 強志 監修 山田 雄司 絵 ふるかは ひでたか															
出版社	ガンビット															
定価	1,500															
対象	高校生以上															
発行	2018年9月															